

2023年7月31日
日本生命保険相互会社

当社初のニッセイ・ポジティブ・インパクト・ファイナンスの実行について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、この度、カシオ計算機株式会社（社長：増田裕一）に対し、ニッセイ・ポジティブ・インパクト・ファイナンス^{※1}（以下「当融資」）を実行しました。

当融資は、当社が策定したポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制（以下「当実施体制」）に基づき、企業の事業活動がもたらす環境・社会・経済領域へのインパクトの特定・評価、ならびに KPI と目標の設定を行った初の案件となります。設定した目標の進捗状況（ポジティブ・インパクトの増大やネガティブ・インパクトの低減の状況）については、ファイナンス期間にわたり当社が年 1 回のモニタリングを実施します。

なお、当融資および当実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、第三者意見^{※2}を取得しており、国連環境計画金融イニシアチブにより定められた「ポジティブ・インパクト金融原則」に対する適合性について確認しています。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG 投融資を強化しており、当融資は、先般新たに目標設定した ESG テーマ投融資および脱炭素ファイナンス枠^{※3}に該当するものです。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

※1：ニッセイ・ポジティブ・インパクト・ファイナンスについては下記 URL をご参照ください。

<https://www.nissay.co.jp/news/2023/pdf/20230612a.pdf>

※2：株式会社格付投資情報センターの第三者意見については下記 URL をご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>

※3：ESG テーマ投融資および脱炭素ファイナンス枠については下記 URL をご参照ください。

<https://www.nissay.co.jp/news/2022/pdf/20230306b.pdf>

< 案件概要 >

企業名	カシオ計算機株式会社
実行日	2023年7月31日
当社融資額	40億円

< 目標と KPI >

テーマ	温室効果ガス排出削減への貢献
目標	<p>①温室効果ガス排出量 Scope1・2 を、2030 年度までに 38%削減（2018 年度比）、2050 年度までに実質ゼロを達成する。</p> <p>②温室効果ガス排出量 Scope3 のうち、カテゴリー1（購入した製品・サービス）とカテゴリー11（販売した製品の使用）を、2030 年度までに 30%削減する（2018 年度比）。</p> <p>③再生可能エネルギー導入比率を 2024 年度までに 40%以上、2027 年度までに 55%以上に引き上げる。</p>
KPI	<p>①Scope 1・2(連結ベース)</p> <p>②Scope 3 のうち、カテゴリー1・11(連結ベース)</p> <p>③再生可能エネルギー導入比率(連結ベース)</p>
関係の深い SDGs	 

テーマ	環境負荷低減への貢献
目標	<p>①「カシオグリーンスター製品」および「カシオスーパーグリーンスター製品」※4の売上比率を、2025 年度までに 90%以上に引き上げる。</p> <p>②事業拠点廃棄物を 2030 年度までに実質ゼロエミッション化（埋立廃棄率※5を 1%以下）する。</p>
KPI	<p>①「カシオグリーンスター製品」および「カシオスーパーグリーンスター製品」の売上比率（連結ベース）</p> <p>②事業拠点における埋立廃棄率(連結ベース)</p>
関係の深い SDGs	

※4：リサイクル設計など 12 におよぶ自社基準を満たす、環境に配慮した製品

※5：最終埋立処分量÷廃棄物発生量

テーマ	各国の教育ニーズに対応した製品の提供による教育レベルの向上
目標	①「GAKUHAN」活動 ^{※6} および関数電卓の開発・販売を推進する。 ②総合学習プラットフォーム「ClassPad.net」を主とするハード・ソフト両面における教育のICT化を推進する。
KPI	①「GAKUHAN」活動の取り組み状況 -ASEAN 諸国をはじめとする新興国での活動エリア拡大等(連結ベース) ②ハード・ソフト両面における、教育のICT化対応への取り組み状況 -中学校や高校とのデジタル学習支援に関する協定や、各種ICT活用の実践等(連結ベース)
関係の深いSDGs	

※6：教育現場での関数電卓の普及を図る活動で、教員向けのトレーニングや教材提供、学力向上を実現するためのプロジェクトなどを通じ、より良い教育と学習環境構築に向けた支援に努めている。

テーマ	サプライチェーンマネジメントの強化
目標	①毎年の人権課題チェックの実施率およびフィードバック実施率を100%にする。 ②毎年の一次取引先におけるCSRアンケート実施率・回収率を100%にする。
KPI	①人権課題チェックの実施率およびフィードバック実施率(連結ベース) ②一次取引先におけるCSRアンケート実施率・回収率(連結ベース)
関係の深いSDGs	

テーマ	ダイバーシティ&インクルージョンと働きやすい環境作り
目標	毎年の女性採用比率を25%以上に引き上げる。
KPI	女性採用比率(単体ベース)
関係の深いSDGs	  

テーマ	健康経営 [®] ※7の推進
目標	①毎年の定期健診受診率を100%にする。 ②毎年の事後措置実施率を80%以上にする。
KPI	①定期健診受診率(単体ベース) ②事後措置実施率(単体ベース)
関係の深い SDGs	

※7：健康経営は、特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標

以 上

2023-15516、広報部